

# 一 般 質 問 順 序

令和8年第1回定例会

順序	会 派	質 問 者	質 問 日
1	みずほ議員会	5番 古賀崇之議員	3月6日
2	市民交流クラブ	3番 江川いつみ議員	
3	令和議員会	4番 海鉦則秀議員	
4	無 会 派	1番 永森峰生議員	
5	令和議員会	12番 楠 徹也議員	
6	みずほ議員会	13番 松山教宗議員	
7	市民交流クラブ	8番 齋藤久美夫議員	3月9日
8	無 会 派	6番 吉岡建二郎議員	
9	令和議員会	10番 森 明人議員	
10	無 会 派	7番 本郷幸治議員	
11	令和議員会	11番 川上美樹議員	

質問順序 1 番

## 質 問 要 旨

5番 古賀崇之 議員

事 項	答 弁 を 求 め る 者
<p>1 農業行政について</p> <p>(1) 担い手不足と後継者対策について</p> <p>① 本市の農業従事者の年齢構成、今後10年の担い手の見通しについて</p> <p>② 新規就農者の直近5年間の実績と今後の課題について</p> <p>③ 本市独自の支援策の現状と、今後の方針について</p> <p>(2) 農業所得の向上と販売戦略について</p> <p>① ふるさと納税の活用状況について</p> <p>② 首都圏や道外市場への販売戦略について</p> <p>(3) 美唄市における土地改良事業について</p> <p>① 国営及び道営事業の整備状況について</p> <p>② 事業がもたらす様々な効果について</p> <p>③ 今後新たに事業を目指す場合の採択要件等と課題について</p>	<p>市 長</p>

## 質 問 要 旨

3番 江川 いつみ 議員

事 項	答 弁 を 求 め る 者
<p>1 市長の政治姿勢について</p> <p>(1) 市政運営の基本姿勢と施策の展開について</p> <p>① 市政運営の基本姿勢を支える市長の政治信条・価値観等について</p> <p>② 3年間で「変化を起こせた」と評価する施策とその成果について</p> <p>③ 残り1年で、重点的に取り組む施策とその理由について</p>	市 長
<p>2 持続可能なまちづくりについて</p> <p>(1) 地方創生2.0について</p> <p>① 地方創生1.0から2.0への転換を、市としてどう捉えているか</p> <p>② 地方創生2.0を、美唄市総合計画後期基本計画(第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略)にどう反映しているか</p> <p>(2) コンパクトなまちづくりと中心市街地活性化について</p> <p>① 中心市街地の位置付けと公平な市民サービスの考え方について</p> <p>② ホテルスエヒロやコアビバイの活用方法について</p>	市 長

## 質 問 要 旨

4番 海 鉦 則 秀 議 員

事 項	答 弁 を 求 め る 者
<p>1 住宅行政について</p> <p>(1) 市営住宅の入居状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 管理戸数と入居率及び入居募集に対する申込について</li> <li>② 入居申込及び入居後における優遇措置について</li> <li>③ 市営住宅の家賃について</li> </ul>	<p>市 長</p>
<p>2 福祉行政について</p> <p>(1) 第9期高齢者保健福祉計画、介護保険事業計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 介護サービスの状況</li> <li>② 地域の状況</li> <li>③ 10期に向けての課題</li> </ul>	<p>市 長</p>

## 質 問 要 旨

1 番 永 森 峰 生 議 員

事 項	答 弁 を 求 め る 者
<p>1 行財政運営について</p> <p>(1) 令和7年度決算見込みと今後の財政運営について</p> <p>① 普通交付税・特別交付税・ふるさと納税による寄附金について、予算に対しての状況について</p> <p>② 補正した特別交付税の確保について</p> <p>③ 支出負担行為額の総計見込み並びに不用額等の状況について</p> <p>④ 令和7年度決算収支見込みについて</p> <p>⑤ 今後の持続可能な財政運営を行うための市の施策の方向性・在り方について</p> <p>(2) ホテルスエヒロの取得について</p> <p>① 取得後に係る費用と財源について</p> <p>② 取得後に生じる費用などが、今後の財政運営にもたらす影響について</p> <p>③ 「取得後の活用の方向性について議論したい」との答弁の真意について</p>	<p>市 長</p>
<p>2 地域医療について</p> <p>(1) 市立美唄病院について</p> <p>① 診療報酬改定による今後の病院経営への影響について</p> <p>② 経常収支比率、医業収支比率の今後の推移について</p> <p>③ 具体的な患者確保の取組と市民から信頼される病院づくりの施策について</p>	<p>市 長</p>

# 質 問 要 旨

12番 楠 徹也 議員

事 項	答 弁 を 求 め る 者
1 市政執行方針について (1) 子ども・子育て支援について ① 子ども・子育て支援の取組について ② こども家庭センターについて	市 長
2 農業行政について (1) 鳥獣捕獲等事業について ① ヒグマ対策について	市 長

## 質 問 要 旨

13番 松山教宗 議員

事 項	答 弁 を 求 め る 者
<p>1 行財政運営について</p> <p>(1) 令和7年度決算見込みについて</p> <p>(2) 令和8年度予算編成の考え方について</p> <p>(3) 今後の財政の見通しについて</p>	<p>市 長</p>
<p>2 職員の現状について</p> <p>(1) 職員の流出に対する対策について</p> <p style="padding-left: 20px;">① 職員定着率の向上に向けた対策について</p> <p style="padding-left: 20px;">② 管理職の「特別勤務手当」について</p>	<p>市 長</p>
<p>3 保健福祉行政について</p> <p>(1) 恵風園及び恵祥園について</p> <p style="padding-left: 20px;">① 現状について</p> <p style="padding-left: 20px;">② 建替えについて</p>	<p>市 長</p>

質問順序 7 番

## 質 問 要 旨

8番 齋藤久美夫 議員

事 項	答 弁 を 求 め る 者
<p>1 元職員の背任事案関連について</p> <p>(1) 美唄市コンプライアンス委員会の取組について</p> <p>① 実態検証と制度の見直しの進捗状況について</p> <p>(2) 元職員等からの返還金について</p> <p>① 返還金の事実関係について</p> <p>② 返還金の市の取り扱いについて</p> <p>(3) 管理職の責務と責任について</p> <p>① 管理職としてあるべき姿、問題意識を持って業務に取り組む姿勢を醸成するためにも、その責任に対し厳正に対処すべきである</p>	<p>市 長</p>

## 質 問 要 旨

6 番 吉 岡 建二郎 議 員

事 項	答 弁 を 求 め る 者
<p>1 市政執行方針について</p> <p>(1) 人口減少、少子高齢化について</p> <p>① 本市の人口は過去の推計と比較して現状どうなっているのか</p> <p>② 移住定住等の施策の実績はどうなっているのか</p> <p>③ 極めて深刻な局面にあるとのことだが今後の取り組みについて</p> <p>(2) 商工業振興について</p> <p>① 中心市街地全体の新たなランドデザインについて</p> <p>(3) 公共交通について</p> <p>① 持続可能な公共交通の実現について</p>	<p>市 長</p>
<p>2 教育行政執行方針について</p> <p>(1) 学校教育について</p> <p>① 小中一貫校や義務教育学校の導入を含めた教育内容の方向性など、調査・研究について</p> <p>② 部活動の地域展開の方向性を検討・決定していくとあるが、現状について</p> <p>③ 学校給食の無償化の考え方について</p> <p>(2) 社会教育について</p> <p>① 生涯学習活動の充実について</p>	<p>教 育 長</p>

## 質 問 要 旨

10番 森 明 人 議 員

事 項	答 弁 を 求 め る 者
<p>1 有害鳥獣管理行政について</p> <p>(1) 北海道ヒグマ管理計画について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>① 本市として、ゾーニング管理の必要性をどのように認識しているのか</li><li>② 具体的なゾーン設定の検討を進めているのか</li><li>③ 区域ごとの対応方針を明文化する考えはあるのか</li><li>④ 猟友会との連携強化や担い手確保に向けた取組状況を伺う</li></ul>	<p>市 長</p>

## 質 問 要 旨

7番 本郷幸治 議員

事 項	答 弁 を 求 め る 者
<p>1 行財政改革について</p> <p>(1) フューチャー・デザインの積極的な活用について</p> <p>    フューチャー・デザインとは政策形成に当たり、現代に生きる人々（現代世代）のみならず、まだ生まれていない、将来に生きる人々（仮想将来世代）をも利害関係者として捉え、仮想世代と現世代の双方の視点を持って考えることで解決方法を見出すものです。</p> <p>    従来のように現在の視点からの評価だけでは、既存計画や政策が未来社会に及ぼす影響は適切に評価できないかもしれません。また、現在の視点の延長では、方針転換を要するような、本質的な課題の顕在化や改善策の提起も容易ではありません。フューチャー・デザインの仮想将来世代といった新しい仕組みを導入することで、より長期的視点から潜在的課題やリスク、未来の価値やニーズを捉え現世代と将来世代を俯瞰した観点から、政策評価や持続可能性を高めるための対策が見えてきます</p> <p>    ① フューチャー・デザイン手法とバックキャストを活用した持続可能なまちづくりについて</p> <p>        少子高齢化や人口減少が進む私たちの地域において、フューチャー・デザイン手法を取り入れ、行政サービス、産業や農業、子育てや介護など、持続可能な未来への多様な課題に対応するために、現在の延長ではなく、抜本的かつ独創的な施策の展開が必要と考えますが見解を伺います</p> <p>    ② フューチャー・デザイン手法を政策立案に取り入れるための組織の整備について伺います</p>	<p>市 長</p>

